

# 監事の意見書

(平成 29 年度 監査報告から抜粋)

## 1 監査の概要

平成 29 年度決算については、平成 29 年度一般会計及び特別会計に関わる収支計算書及び財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）、附属明細書、財産目録（以下「決算報告書」という。）並びに証憑書類、元帳等帳簿その他関係書類等について、監事全員が分担の上、決算報告書の表示・開示の検討及び元帳等との照合、元帳等帳簿の閲覧・通査、残高証明書・預金通帳・契約書等の証憑との照合、商品の棚卸立会及び現金の実査、役員及び職員の報告及び説明並びに監事からの質問等を実施し、監事相互に意見交換を行い、会計監査を実施した。

## 2 監査の結果

収支計算書及び財務諸表（貸借対照表及び正味財産増減計算書）、附属明細書、財産目録については、適正に処理されているものと認められた。

## 3 意見

- (1) 公益法人会計基準等との整合性を図るため、会計規則等の一部改正が必要であり、既に改正スケジュールが立案され、平成 31 年度の施行を目途としている。的確な施行を図られたい。
- (2) 関連当事者との取引については、定期的に取り引実績表の作成及び決算書等入手し、取引内容の確認をすることに留意が必要である。

平成 30 年 4 月 26 日

日本土地家屋調査士会連合会

監 事	加 藤 幸 男
監 事	針 本 久 則
監 事	新 村 実